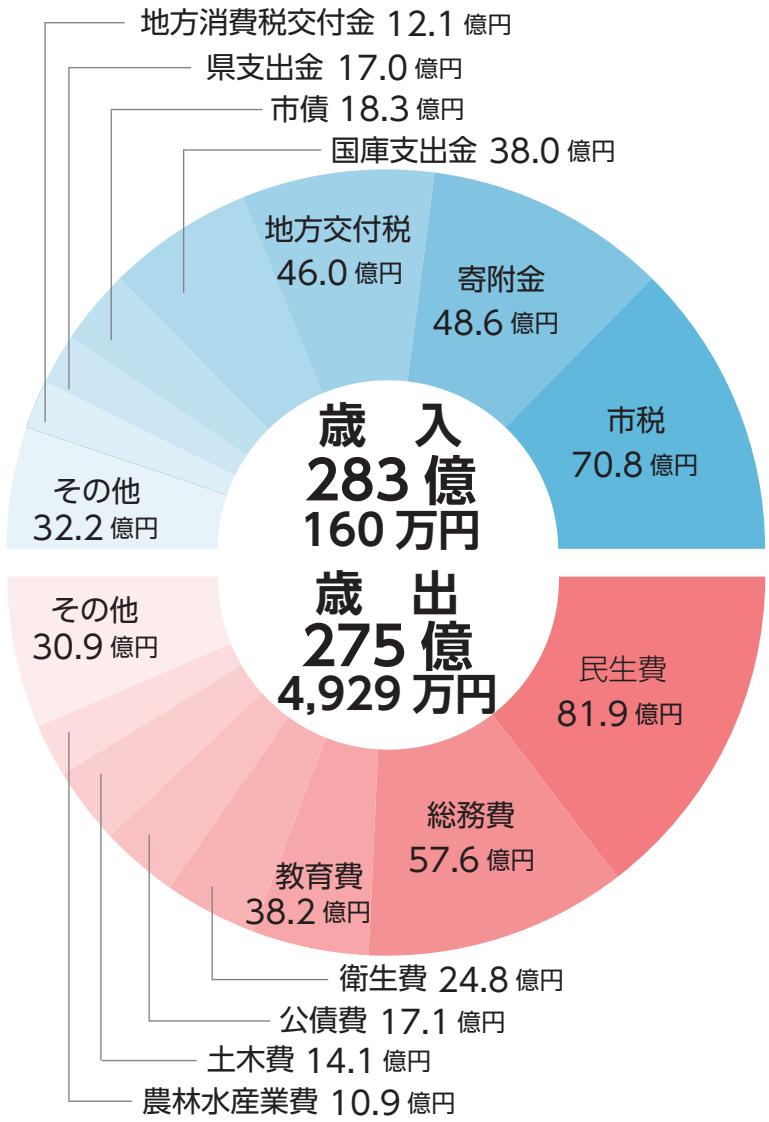


一般会計の内訳

Point! 昨年度より「増えた」市の収入（主なもの）
市税（+3.5億円）：給与の上昇や新しい企業の進出で、市民税や固定資産税が増加
市債（+7億円）：大型事業の資金調達（借入）が増加



Point! 昨年度より「増えた」市の支出（主なもの）
教育費（+11.9億円）：小学校の改修や統合中学校の整備などによる増加
衛生費（+3.9億円）：水道基本料金の減免などによる増加

- 【歳入】
- 市税：市民税、固定資産税など
 - 寄附金：ふるさと納税など
 - 地方交付税：地方財源を調整する国の交付金
 - 国庫支出金：使い道を限定された国の交付金
 - 市債：市の借金
 - 県支出金：使い道を限定された県の交付金
 - 地方消費税交付金：消費税のうち地方分配金など
 - その他：各種交付金、繰越金、使用料など

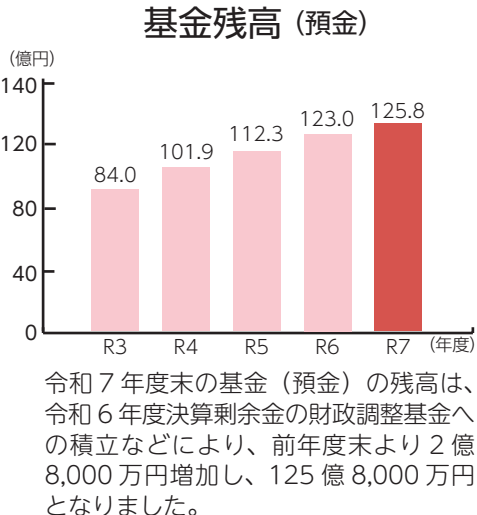
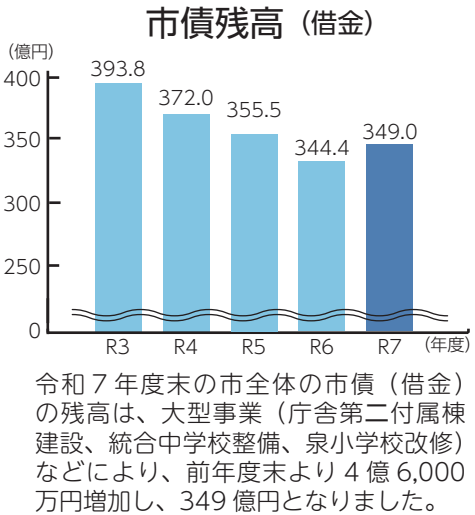
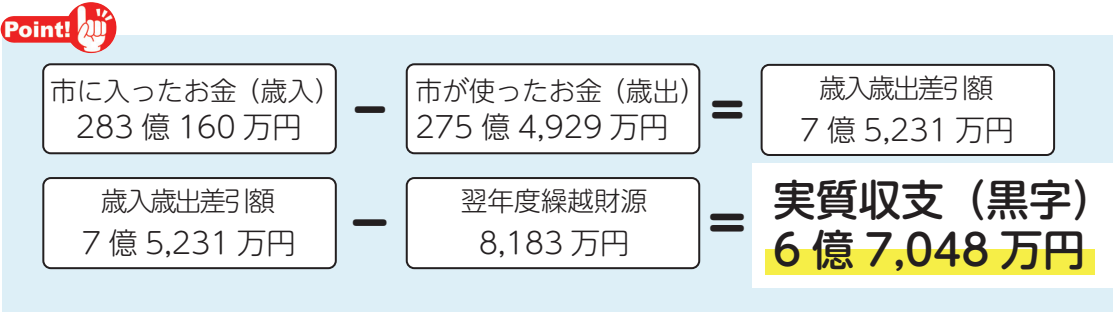
- 【歳出】
- 民生費：高齢者・障がい者・子どもの福祉など
 - 総務費：戸籍、徴税、防犯対策など
 - 教育費：学校教育・施設整備など
 - 衛生費：健康の保持、ゴミ・し尿処理など
 - 公債費：借金の返済や利子の支払いなど
 - 土木費：道路、市営住宅の維持管理など
 - 農林水産業費：農業振興、山林の管理など
 - その他：消防・商工・労働・議会など

歳入と歳出

令和7年度の一般会計の決算額は、前年度と比べ歳入は約16億5216万円の増、歳出は約11億7555万円の増となりました。特別会計は全て黒字でした。企業会計は、全てが赤字となりました。

会計種別		歳入	歳出	収支
一般会計		283 億 160 万円	275 億 4,929 万円	7 億 5,231 万円
特別会計	国民健康保険	45 億 4,699 万円	45 億 4,661 万円	38 万円
	介護保険	54 億 151 万円	53 億 8,126 万円	2,025 万円
	後期高齢者医療	9 億 1,618 万円	9 億 869 万円	749 万円
	公園墓地整備事業	720 万円	304 万円	416 万円
	産業団地整備事業	2 億 2,033 万円	1 億 7,937 万円	4,096 万円
企業会計	水道事業	10 億 1,409 万円	12 億 3,802 万円	△ 2 億 2,393 万円
	下水道事業	17 億 4,290 万円	19 億 8,266 万円	△ 2 億 3,976 万円
	病院事業	40 億 1,531 万円	47 億 154 万円	△ 6 億 8,623 万円

※企業会計の赤字は過年度利益剰余金（過去に利益があった分の預金）などの留保財源（将来のために残してあるお金）で対応しています。

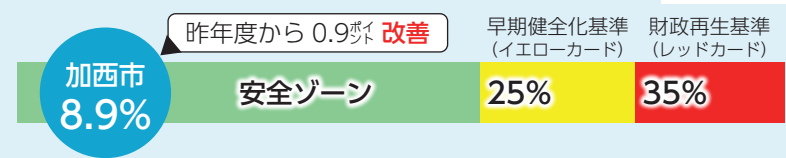


基金と市債

基金とは、自治体が将来のために積み立てておくお金で、家庭で例えると「預金」にあたります。一方、市債は自治体が事業などの必要な資金を調達するために借りるお金で、家庭で例えると「借金」にあたります。

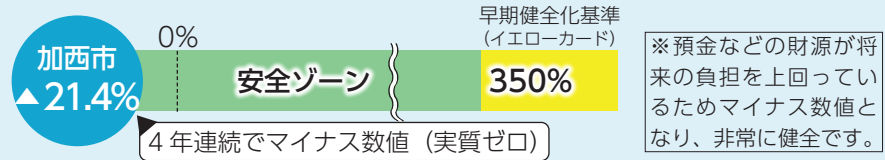
実質公債費比率

収入に対する「借金返済の負担の大きさ」を表す数字



将来負担比率

将来返していく『借金などの支払いの大きさ』を表す数字



財政の健全性

財政の健全化を判断する指標は、国の定める基準値を全てクリアしており健全です。実質公債費比率は、第三セクター等改革推進債などの起債償還終了などにより、8.9%（前年度比0.9ポイント減少）となりました。また、将来負担比率は、市債残高の増加などによりマイナス21.4%（同9.0ポイント増加）となりました。

令和7年度の主な事業

※抜粋



加西 GLOBALE教育推進事業

3,503 万円（教育費）

児童生徒の英語力向上と国際人材育成のため海外短期留学費補助や外国人講師による集中学習を実施。



道路修繕工事

3 億 1,725 万円（土木費）

玉丘常吉線、豊倉日吉線など全 85 路線の修繕工事を実施。



庁舎第二附属棟建設工事（こども家庭センター）

3 億 8,636 万円（総務費）

こども家庭センターと災害対策本部機能を備えた、第二附属棟庁舎の建設工事を実施。



統合中学校建設工事

6 億 8,058 万円（教育費）

3 中学校（善防中、加西中、泉中）を統合した「加西中学校」の新校舎建設工事を実施。